

リサイクル燃料貯蔵株式会社	
提出日	2022年2月18日
管理表No.	0209-85 改訂00

項目	コメント内容
火山 (第9条)	許可整合の観点から、事業変更許可申請書で用いた「腐食性ガス」の文言を用いて、「降下火砕物に付着した硫酸等を含む腐食性ガスによる腐食対策として、金属キャスク表面に塗装等の対策を施す」旨の説明を添付書類に追記すること。

(回答)

「添付7-3-1の2.1基本方針」にて、“想定される火山事象は、貯蔵施設の運用期間中において基本的安全機能に影響を及ぼし得るとして事業（変更）許可を受けた「降下火砕物」・・・”との記載があり、この事業（変更）許可を受けた「降下火砕物」とは、事業変更許可 添付六 P6-1-55 “1.1.9.3 降下火砕物の設計条件及び特徴(2)降下火砕物の特徴“にて明確になっており、現行記載については、許可整合が図られていると考えられることから、設工認申請書添付への追記はしないこととする。

【設工認 添付書類3 添付7-3-1の2.1基本方針（抜粋）】

2.1 基本方針

使用済燃料貯蔵施設の火山防護設計は、外部からの衝撃より防護すべき施設（以下「外部事象防護施設」という。）が想定される火山事象により、基本的安全機能を損なうおそれがないことを目的とし、技術基準規則に適合するように設計する。

想定される火山事象は、貯蔵施設の運用期間中において基本的安全機能に影響を及ぼし得るとして事業（変更）許可を受けた「降下火砕物」であり、その影響について考慮する。

【既許可 添付六 1.1.9.3 降下火砕物の設計条件及び特徴】

1.1.9.3 降下火砕物の設計条件及び特徴

(2) 降下火砕物の特徴

各種文献の調査結果より、降下火砕物は以下の特徴を有する。

- a. 火山ガラス片、鉱物結晶片から成る⁽³⁾。ただし、砂よりもろく硬度は低い⁽⁴⁾。
- b. 硫酸等を含む腐食性のガス（以下1.1.9では「腐食性ガス」という。）が付着している⁽³⁾。ただし、金属腐食研究の結果より、直ちに金属腐食を生じさせることはない⁽⁵⁾。
- c. 水に濡れると導電性を生じる⁽³⁾。
- d. 湿った降下火砕物は乾燥すると固結する⁽³⁾。
- e. 降下火砕物粒子の融点は約1,000℃であり、一般的な砂に比べ低い⁽³⁾。

以上